

## 白馬線登山道の状況（令和4年7月2日現在）

### （1）白馬山荘～旭岳

小屋から3つの雪渓を通行するが、視界不良時には道迷いの注意が必要。雪渓は数箇所急斜面を通行するので、ピッケル、アイゼンなどの装備を活用して、斜面をしっかりと蹴りこんで、滑落に注意する。

迷いやすい箇所には、ベンガラ（赤色の粉末塗料）を散布した。朝方は、ガスで視界が悪いことが多く、前日夕方に小屋からの雪渓などの状況を確認しておくこと。視界良好時は、小屋からコースを確認してから通行してほしい。



### （2）旭岳～清水岳

旭岳（2,636m）付近に数箇所雪渓あり。（下方に夏道があり、雪が解けるまでベンガラ上を通行）

清水岳直下（2,550m）に雪渓があり、ベンガラから外れないように通行すること。

2,165m最後の雪渓を通過した後、登山道（夏道）に合流する。濃霧時は迷いやすいので要所のテープマーキングを確認して通行すること。



### （3）清水岳～不帰岳避難小屋

夏道の出入り口には、マーキングなどを施しわかりやすくした。登山道の通行障害になる倒木は撤去した。7月2日（土）、不帰岳避難小屋を開設。水場も利用可能。（徒歩3分）



#### (4) 不帰岳避難小屋～百貫の大下り

祖母谷に近づくにつれ、登山道の幅が狭くなったり、傾斜のある斜面のトラバースがあり、足元に注意して通行する。危険な箇所にはロープF I Xしてある。

百貫山のコル付近で上部が開けた場所では、携帯電話（au、ドコモ）の使用可能箇所2箇所あり。登山道上の倒木については撤去済み。登山道を外れると草木が生い茂っていることから、登山道を外れて沢に入らないように注意する。

沢沿いは、今後も大雨などで崩れる可能性があり、登山道から沢沿いにかけて補助ロープなどを設置した。雨天時、増水時は通行困難、沢上部からの落石に注意しながら通行する。

雪渓多数あり。百貫の大下りの雪渓は崩壊寸前で危険。

倒木が多数あり、通行に支障がある木は処理済み。

荒天時（雨など）には土砂の崩壊や伸びた草などで登山道上に隠れた浮石での転倒に注意が必要である。※長いルートであり、疲労などでの転倒、転落に注意。

